

第2学年英語学習指導案

1 日時 平成19年9月19日(水) 午後1時50分～2時40分

2 場所 東久留米市立西中学校 2年A組 3階教室にて

3 クラス 2年A組 38名

4 単元名 Lesson 5 Speech “My Dream” (NEW CROWN ENGLISH SERIES)

5 単元の目標

- (1) 不定詞の用法を理解し、不定詞を含む文を正しく聞き取り、及び正しく使うことができる。
- (2) 将来つきたい職業について考え、スピーチの構成や表現について学ぶ。

6 単元の評価規準

コミュニケーションへの 関心・意欲・態度	表現の能力	理解の能力	言語や文化についての 知識・理解
<ul style="list-style-type: none"> ・間違いを恐れず、英語を使おうとする態度が見られるか。 ・協力して活動に取り組むことができるか。 ・宿題をやっているか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・伝えることを意識し音読や暗記発表ができるか。 ・不定詞を使って相手に話したり、書いたりすることができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教科書本文や不定詞を含む文を聞いたり読んだりして、その内容について正しく理解することができるか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不定詞の構造や意味を理解しているか ・スピーチの形式を理解したか。

7 指導にあたって

(1) 生徒の実態

1年生の時は音声指導に力を入れた指導をしてきた。「英語が好き」という生徒が多く、授業も真面目に意欲的に取り組む生徒が多い。指示にもよく従うので、男女ペアでのペアワークも嫌がらず、すぐにできる。英語の授業としては珍しく男子の方がよく声を出し、女子は積極性に欠ける。しかし全体的には声もよく出ているし努力もしているが、では暗唱までやれる人はやろうと言っても、挑戦する生徒はあまり多くない。読めればもういいや、ここまでできたからもういいや、手を挙げて発表まではしないでいいやというような雰囲気がある。個々に目標を作り、もっとやってみようというような向上心が欲しい。

(2) 指導の工夫

- ① 1年次より長期休業後のスペリングコンテストは実施してきた。スペコンに加え、今年度からは授業最後にページ毎の単語テストか dictation test、学期末には復習コンテストとして、新出単語から5

0 題出題し、定着するよう工夫している。

- ②「(全員が) ふりがななしで教科書を音読できる」ことを目標に、音読練習をしている。T Tの時にはなるべく個々に対応している。
- ③ウォーミングアップの活動を2学期より始める(遅いが…)。飽きがこないように reading (1・2年生時の教科書)、speaking(topicを決め、1分ほどペアで話す)、song (歌うほどはやれないが、リクエストが多い)、game (既習次項のキーセンテンスを伝言ゲームで使う)の活動を取り入れる。全て生徒が声を出す活動にするようにしている。
- ④弾力的にT Tを実施する。例えば、ALTの授業時やスピーチ作成(英作文指導)、問題演習時にクラスを2分割し、弾力的にT Tを行う等。
- ⑤英語がんばりカードのようなものを作り、暗唱で発表できた時、音読でも上手にできた時、ビンゴで勝った時などハンコを押し、動機付けをしている。一緒に単語テストの点数、音読の記録などを付けるようにしている。
- ⑥ノートは2冊用意させ、Aノート(授業用)、Bノート(復習用)という風になっている。来年からは授業ノート、復習ノートと名称を変更しようと考えている。
- ⑦基本的な授業の組み立てを決める(ほぼ2学期より…)。
あいさつ・ウォームアップ→復習→新出言語材料導入・説明・ドリル(言語活動)→教科書の新出単語導入→教科書導入・内容理解・説明→教科書音読練習→単語テスト→まとめ(dictation など)

8 指導計画

第1時 to不定詞の名詞的用法の形を理解し、定型文を言えて、書けるようにする。(本時)

第2時 将来なりたい職業について考え、興味を持たせる。

教科書 p 4 4の内容を理解し、正しい発音で音読することができる。

第3時 to不定詞の副詞的用法の形を理解し、定型文を言えて、書けるようにする。

第4時 教科書 p 4 5の内容を理解し、正しい発音で音読することができる。

第5時 to不定詞の形容詞的用法の形を理解し、定型文を言えて、書けるようにする。

第6時 教科書 p 4 6の内容を理解し、正しい発音で音読することができる。

第7時 Lesson 5まとめ 文法(to不定詞)まとめ

9 本時の指導計画

(1) 目標

- ①to不定詞名詞的用法の構造と意味を理解することができる。
- ②不定詞を含む文を使い、英語で伝え、書くことができる。

(2) 展開

	学 習 活 動	教師 (T 1、T 2) の支援	留意点 (*)・評価 (◎)・ 教具 (★)
導 入 15 分	1 Greeting 2 Q&A 3 Warm-up 活動 伝言ゲーム	[T1,T2]英語であいさつ [T1]出欠確認・曜日や日付、天気、忘れ物等 英語で何人かの生徒に聞く。 [T1]伝言ゲームを指示。 文は Lesson 4 に出てきたキーセンテ ンスを使う。 [T2] slow learners の支援	◎意欲・関心・態度 ◎表現の能力 (話す・伝え る) ★短冊状の紙 (文を書く) * slow learners の支援
展 開 25 分	1 Presentation of new grammar 2 Pair-work	[T1]What do you want to do this weekend? [T2]I want to go shopping.. I like to buy clothes. How about you? [T1]Well, I want to go to Disneyland. And I like to go shopping too. Do you want to go to Disneyland together? [T2]・・・ [T1]picture card を黒板にはり、言った英語 を書く (生徒は後で書く)。意味の確認。 →to~の説明 [T1]Pair-work の説明をする。 ①席の前後でペアを作り、席が前の人を後ろ を向く。 ②席が後ろの人は Picture Card を見て、「 ~が~したい」「~は~するのが好きだ」とい う文を英語で伝え、前の人にはワークシート にメモする。(できれば英語で。分からない 生徒は日本語でもよし。) ③T1,T2 で demonstration ④ 3 問やる。 ⑤発表、答え合わせ。	★picture card * T1 だけでなく T2 も demonstration する。 ◎理解の能力 (聞く) ◎知識・理解の能力 * ノートは後で書く。 ★picture card ◎意欲・関心・態度 ◎理解の能力 (聞く) ◎表現の能力 (話す・書く) * want to~, like to~を両 方使えた生徒には T 2 よ りハンコ
ま と め 10 分	1 Writing and homework check 2 Greeting	[T1]板書を書くように指示。 その間に Homework check (新出単語 調べ、本文写し)、プリントを書き終わ った生徒はワークをやる。 [T1,T2]英語であいさつ	* やってきた生徒には A ノートにハンコ ◎意欲・関心・態度

(2) 板書計画

Lesson 5		
★What do you want to do this weekend?		★Today's point
Picture	I want to go shopping.	to 動詞の原形～ → ～すること
Card	I like to buy clothes.	・ want to ～ →～したい
		・ like to～ →～するのが好き
		<答え合わせ>
Picture	I want to go to TDL.	
Card	I like to go shopping.	

(3) 評価

[意欲] 積極的に相手に英語で伝えようとしていたか。宿題をやってきたか。

[表現] 相手に伝えることを意識し、英語を話したか。

[理解] 英語を聞き、意味を（想像しながら）理解できたか。

[知識] to 不定詞名詞的用法の構造と意味を理解することができたか。

1 Pair Work

後ろ向きになり、相手が何を言っているかメモをしてみよう。メモはできるだけ英語で書こう。

①

②

③

2 Self-Evaluation

① 授業に積極的に参加しましたか。 (A B C)

② 今日のポイントは理解できましたか。 (A B C)

③ 感想

Class()No()Name()